

「第1回 シンポジウム 関西のインフラ強化を進めるために －日本のリーディングエリアとするために－」

開催報告

(一社)近畿建設協会

関西を日本のリーディングエリアとしていくために、必要なインフラ整備や仕組み等について、産官学の多くの有識者で方向性を議論し、実現に向けた構想などをとりまとめて広く広報していくため、平成29年4月に「関西のインフラ強化を進める会」を発足させました。この度、キックオフとして第1回シンポジウムを6月13日に開催しましたので、その報告をします。

- ①実施日時 : 平成29年6月13日(火) 13:30～17:00
- ②会場 : 朝日生命館8階 朝日生命ホール
- ③出席者 : 402名
- ④出席者の所属 : 近畿地方整備局105名、運輸局2名、自治体・県議会議員52名、高速道路会社21名、コンサルタント 22名、建設業71名、団体・大学・その他19名、報道10名
- ⑤今後の予定と広報展開 : 今後は、7月31日に第2回、12月に第3回委員会の開催を予定しており、議論のテーマを変えて年3回程度実施します。また、議論の結果は、年2回のシンポジウムや当協会HP・冊子・新聞紙上などで広く一般の方々に広報していきます。

プログラム

13:30～13:35	開会挨拶 霜上民生 (近畿建設協会 理事長)
13:40～14:40	基調講演 森昌文氏 (国土交通省 技監) 「関西のインフラ整備について」
15:00～17:00 (コーディネーター パネラー)	パネルディスカッション 小林潔司氏 (京都大学経営管理大学院 教授) 池田豊人氏 (近畿地方整備局長) 出野精二氏 (関西経済連合会 常務理事・事務局長) 上村多恵子氏 (民間資金等活用事業推進機構 取締役) (西日本高速道路(株) 監査役) 若林陽介氏 (近畿運輸局長)

次回、シンポジウムを下記のとおり予定しています。
第2回 シンポジウム
日時：平成29年10月26日(木) 13:30～
会場：建設技術展会場(マイドーム大阪)



「進める会」がシンポ
関西インフラ「夢を描いて」

関西を日本のリーディングエリアとしていくために、必要なインフラ整備などについて考えるシンポジウム「関西のインフラ強化を進めるために」(関西のインフラ強化を進める会主催、国土交通省近畿地方整備局など後援)が13日、大阪市中央区の朝日生命ホールで開催された。写真。同省の森昌文技監が関西のインフラ整備について基調講演を行い、「将来の姿はどのようなべきか夢を描くことが大切」と強調した。パネルディスカッションでは、京都大経営管理大学院の小林潔司教授がコーディネーターを務め、パネリストとして池田豊人・同局長、出野精二・関西経済連合会常務理事、上村多恵子・民間資金等活用事業推進機構取締役、若林陽介・近畿運輸局長の4氏が登壇。今、なぜ関西のインフラ強化を進めていく必要があるのか一テーマに活発な意見交換が行われた。

新聞記事 (平成29年6月14日 産経新聞)